

ノーサイド 北原 巖 男

◎かつて東ティモール東端の地で、地域の人々に寄り添って来られたシスターからお手紙を頂きました。

「コロナ禍でも第一線で頑張っておられる。○病院の医療従事者の方々の身近に週一回行っている

すばらしい」
落ち着きを取り戻して、改めてよく見る。巧妙に字体をまねて書き加えられていました。

ウムウー・・・

何事も、見方を變えて見てみることも大切なかも知れません。もう一つの真実・・・

◎今から11年前、2010年のカレンダー。

僕は、2008年から2011年まで東ティモールに住んでいました。そのとき飾った東ティモールのカレンダーの自然や人々、

文化などの写真がとても素敵だったのでしょうか。帰国

す。私に出来る事なら何でもおかしくない現代、も言ったださいーと思っ
ていましたが、「シスターも高齢者ですよ。どうぞ、無理をなさらないでください。」と逆に心配され、実寸大の弱い自分と向き合
わざるを得ませんでした。それでも高齢化が進む修道
院では、若手ですので、姉妹には、不要不急の外出を
控えてもらい、その分、私は外出が多くなり、いつも
より忙しく走り回っていま
す。コロナの知識を正しく
知り、正しく恐れることを
学んでいます。こころして
気を付けています。

想定外のことがいっ起こ
るとときに引っ越し荷物に
入れて持ち帰っていまし
た。

そのカレンダーが、20
21年の新春から机の前に
再登場しています。

そうなんです。今年は、
1月1日が金曜日から始ま
り、2010年と全く同じ
なのです。

11年前の1月は何をし
ていたのか。頭のキャンパ
スは真つ白なままですが、
温かい、何かが体の中から
静かに湧き上がって来るの
を感じます。

「防衛ホーム」の読者
の皆さん、隊員・家族の皆
さんの今日は、11年前の今

日々の生活の足元を見直し
ながら、歩んでいます。修
道院の朝晩の祈りが、世界
の方々のこころを携え、意
識して祈らせてもらえる使
命を感謝しています・・・」
◎近所の方から「図書館
で借りて来た本だけ、あ
なたも読んでみて」と渡さ
れた医師鎌田 實さんの「空
気は読まない」(2010
年2月集英社刊)の一節。
鎌田医師は、地域と一体と
なった医療と患者さんの心
のケアも含めた医療に携わ
って来られた方です。

「あたたかさに出会うた
び、ぼくらはうれしくなる。
日です。

皆さんも、きつと今に繋
がるタイムスリップしてみ
ませんか。

◎東ティモールをして日
本で親しくしていたご主人
を亡くされた若い方からお
手紙を頂きました。

「・・・ひも今は、夫と
過ごせたことを心から神様
に感謝しています。2人で
過ごした幸せな日々は、消
えることのない事実ですか
ら・・・誰か一人ぼっちの
人、自分なんかいらないと
感じてしまっている人に寄
り添って「幸せ」をたくさ
んつくれるように走り抜き
たいと思います。夫が胸を

「新春それぞれに」

元気になる。
ほかの誰かを、うれしい
気持ちにさせたくなる。元
気にしてあげたくなる。
今の日本には、病気のウ
イルスと、「自分さえよけ
れば」ウイルスばかりがは
びこっているようだ。だか
が、日本の医療を救うかも
しれない・・・」
◎壁に飾られているカレ
ンダー。先日、何の気なし
に版画の脇に併記されてい
る「今月の言葉」を見て驚
愕しました。大発見です！
何と、「人間は、みんな
みずほらしい」
慌てて家人のもとに走り
ました。ところが泰然自若。
ニコリとして曰く、「マジ
ックで二文字と一本の線を
追加したんだけど、今まで
「ありがとう」と言っても
気が付かなかった。」
元は、「人間は、みんな

張って「俺の嫁です!!」と
て言ってくれるように・・・」
新春それぞれに。
かけがえのない片道切符
の人生。
新型コロナウイルス感染
防止を徹底し、「Go Ahe
ad My Ways」
頑張りましたよー！
＊手紙、著作の抜粋等は
筆者。

北原 巖男(きたはらいわ
お) 元防衛施設庁長官。
元東ティモール大使、現(一
社)日本東ティモール協会
会長。(公社)隊友会理事